

## 2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年11月11日

上場会社名 株式会社レーサム 上場取引所 東  
 コード番号 8890 URL http://www.raysum.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小町 剛  
 問合せ先責任者 (役職名) 上級執行役員管理本部長 (氏名) 片山 靖浩 TEL 03-5157-8881  
 四半期報告書提出予定日 2022年11月11日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家、アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

### 1. 2023年3月期第2四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年9月30日）

#### （1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	18,888	△5.3	3,113	12.4	3,188	25.4	2,233	39.6
2022年3月期第2四半期	19,937	189.7	2,769	—	2,542	—	1,599	—

（注）包括利益 2023年3月期第2四半期 2,378百万円（47.7%） 2022年3月期第2四半期 1,610百万円（—%）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	66.67	—
2022年3月期第2四半期	43.64	—

#### （2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	92,502	46,633	50.4
2022年3月期	109,847	53,433	48.6

（参考）自己資本 2023年3月期第2四半期 46,625百万円 2022年3月期 53,422百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	37.00	37.00
2023年3月期	—	0.00	—	—	—
2023年3月期（予想）	—	—	—	50.00	50.00

（注）直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	80,000	17.0	12,500	10.0	11,600	11.1	7,500	13.1	245.48

（注）直前に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期2Q	29,081,400株	2022年3月期	37,081,400株
② 期末自己株式数	2023年3月期2Q	480,711株	2022年3月期	479,586株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期2Q	33,497,954株	2022年3月期2Q	36,654,814株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報)	9
(重要な後発事象)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高18,888百万円（前年同四半期比5.3%減）、営業利益3,113百万円（同12.4%増）、経常利益3,188百万円（同25.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益2,233百万円（同39.6%増）となり、前年同四半期比で増益と堅調に推移しております。

各セグメントの業績は次のとおりであります。

#### (資産価値創造事業)

当事業では、お客様ひとり一人の目的に応じて個々の不動産資産の潜在価値を追求します。自らオーナーとなり用途変更や大規模改修、新たなテナント誘致等を行い、お客様にとって意味のある不動産資産を創出し提供します。

新型コロナウイルス感染症拡大によって様々な事業活動の制約を受けたことは、不動産に内在する本質的な価値を見直す契機となりました。当社が最も重視すべきことは、社会、経済、環境の全てが共生し、継続的な発展につながる価値の本質を考え抜き、それを実現させることにありと再定義し、当事業に取り組んでおります。

当第2四半期連結累計期間においては、利益率の高い販売価格20億円以上の大型物件複数を含む商品をお客様にお届けしました。また、当社が資産価値向上を進める大型物件を複数組み合わせ合わせた100億円規模の運用資産に数千万円単位から投資できる新たな不動産投資商品の第二陣を組成し、販売を進めてまいりました。この結果、当第2四半期連結累計期間の当事業の売上高は15,629百万円（前年同四半期比6.7%減）、セグメント利益は4,840百万円（同34.5%増）となり、前年同四半期を上回るセグメント利益となりました。

当セグメントの通期売上高目標の達成に向けて、必要な改修工事、用途変更準備、テナントリーシングや営業活動を進めるとともに、来期以降の売上につながる大型物件の仕入にも取り組んでおります。

#### (資産価値向上事業)

当事業では、お客様にご提供した不動産について、その価値を維持向上させるための、賃貸管理、建物管理業務等を行います。テナント入れ替わり等を機会に、将来に向けた物件価値の向上策をご提案する等、お客様のご希望を細かくお伺いし、長期的な資産価値向上を目指します。

当第2四半期連結累計期間の当事業の売上高は、前年同四半期に保有していた物件がその後順調に販売され、当該物件における受取賃料が減少したこと等により、2,141百万円（前年同四半期比13.7%減）、セグメント利益は344百万円（同45.2%減）となりました。

#### (未来価値創造事業)

当事業では主に、コミュニティホステル、超高齢化社会に必須の高度医療専門施設、多発する自然災害に備える非常用電源開発など、将来の社会課題に対応した事業を、自社事業として行っております。これらの事業運営を通して獲得した経験や知見は、将来の資産価値創造事業、資産価値向上事業における構想と提案に活かされます。

新型コロナウイルス禍の影響は残りつつも、前年と比較して国内人流が回復していることもあり、宿泊事業は前年同四半期比で回復基調となり、目黒の「Medock総合健診クリニック」は、各方面の事業会社・健康保険組合との連携を深め、受診者の数を増加させております。また、(株)レイパワーにおいてお客様に提供した非常用ガスエンジン発電機が今夏に大雨災害時の停電に際して有効に能力を発揮し、導入いただいたお客様から高い評価をいただいております。

当第2四半期連結累計期間の当事業の売上高は、1,117百万円（前年同四半期比58.8%増）となり、セグメント損失は、新たに立ち上げたサウナ施設「SAUNA RESET Pint」の初期投資等もあり、1,672百万円（前年同四半期は1,149百万円のセグメント損失）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ①財政状態の変動状況

## (資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて14,296百万円減少し、82,026百万円となりました。これは主に、現金及び預金が15,738百万円減少して12,484百万円、販売用不動産が2,632百万円減少して21,941百万円、仕掛販売用不動産が1,162百万円増加して39,723百万円、当社の連結子会社であった㈱アセット・ホールディングスの全株式及び同社に対して有する貸付債権等の譲渡による未収金等の増加により、その他の流動資産が3,229百万円増加して6,957百万円となったことによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて3,048百万円減少し、10,476百万円となりました。これは主に、有形固定資産の取得による増加と、株式譲渡により連結の範囲から除外した㈱アセット・ホールディングスの有形固定資産の減少、及び減価償却等による減少で3,545百万円減少、無形固定資産が48百万円減少、投資その他の資産が545百万円増加したことによるものであります。

上記の結果、当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて17,344百万円減少し、92,502百万円となりました。

## (負債)

負債は、前連結会計年度末に比べて10,544百万円減少し、45,869百万円となりました。これは主に、新規の資金調達と借入金の返済による差額で借入金の減少3,938百万円、法人税等の一部納付による未払法人税等の減少5,142百万円、物件工事等による未払金の減少847百万円が主な要因であります。

## (純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて6,800百万円減少し、46,633百万円となりました。これは利益剰余金が親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により2,233百万円増加し、剰余金の配当により1,354百万円減少したこと、自己株式の取得により7,824百万円減少したことが主な要因であります。また、自己株式の消却により自己株式が8,000百万円減少する一方、利益剰余金が8,000百万円減少しており、純資産合計には影響ありません。

なお、当第2四半期連結会計期間末の自己資本比率は50.4%となりました。

## ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」といいます。）は、前連結会計年度末に比べて15,747百万円減少し、12,474百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの主な変動要因は、次のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金は、1,164百万円の減少となりました。主な増加要因は、資産価値創造事業における売上高15,629百万円に係る資金増加であり、主な減少要因は、資産価値創造事業における販売用不動産の仕入の支払額4,555百万円、仕掛販売用不動産の開発進展並びに販売用不動産の改修工事代金の支払額3,976百万円、法人税等の支払額5,457百万円、及び販売費及び一般管理費の支出に係る資金減少であります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金は、1,658百万円の減少となりました。主な減少要因は、有形固定資産の取得による支出508百万円、出資金の払込による支出550百万円、貸付けによる支出308百万円であります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金は、13,046百万円の減少となりました。主な減少要因は、新規の資金調達と借入金の返済による差額での減少3,825百万円、自己株式の取得による支出7,824百万円、配当金の支払額1,351百万円であります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2022年5月13日の「2022年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	28,222	12,484
営業未収入金	310	274
販売用不動産	24,573	21,941
仕掛販売用不動産	38,560	39,723
前渡金	902	619
未収還付法人税等	36	37
その他	3,727	6,957
貸倒引当金	△11	△11
流動資産合計	96,322	82,026
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	4,643	2,782
土地	1,616	490
建設仮勘定	98	2
その他（純額）	1,484	1,023
有形固定資産合計	7,843	4,298
無形固定資産		
その他	259	210
無形固定資産合計	259	210
投資その他の資産		
投資有価証券	1,954	2,166
繰延税金資産	1,153	680
出資金	546	1,096
長期貸付金	1,536	1,842
その他	709	659
貸倒引当金	△478	△478
投資その他の資産合計	5,421	5,967
固定資産合計	13,524	10,476
資産合計	109,847	92,502

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
1年内返済予定の長期借入金	1,361	1,299
未払金	1,610	762
未払法人税等	5,493	351
前受金	559	512
賞与引当金	4	—
関係会社整理損失引当金	123	123
その他	1,219	863
流動負債合計	10,372	3,913
固定負債		
長期借入金	41,910	38,032
預り敷金	3,678	3,528
その他	452	395
固定負債合計	46,041	41,956
負債合計	56,413	45,869
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	100	100
資本剰余金	6,899	6,899
利益剰余金	46,942	39,821
自己株式	△649	△473
株主資本合計	53,292	46,347
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	57	203
為替換算調整勘定	72	73
その他の包括利益累計額合計	129	277
非支配株主持分	11	8
純資産合計	53,433	46,633
負債純資産合計	109,847	92,502

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
売上高	19,937	18,888
売上原価	14,641	12,362
売上総利益	5,295	6,526
販売費及び一般管理費	2,526	3,412
営業利益	2,769	3,113
営業外収益		
受取利息	20	4
受取家賃	2	2
受取給付金	33	22
為替差益	0	296
その他	8	9
営業外収益合計	65	335
営業外費用		
支払利息	276	233
財務手数料	7	3
その他	8	23
営業外費用合計	292	260
経常利益	2,542	3,188
特別利益		
固定資産売却益	—	0
関係会社清算益	7	—
投資有価証券売却益	9	—
特別利益合計	16	0
特別損失		
固定資産除却損	28	5
固定資産売却損	38	0
事業撤退損	—	242
特別損失合計	66	248
税金等調整前四半期純利益	2,492	2,940
法人税、住民税及び事業税	965	314
法人税等調整額	△73	394
法人税等合計	892	709
四半期純利益	1,599	2,230
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	—	△2
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,599	2,233



(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益	1,599	2,230
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	8	146
為替換算調整勘定	2	1
その他の包括利益合計	10	147
四半期包括利益	1,610	2,378
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,610	2,381
非支配株主に係る四半期包括利益	—	△2

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	2,492	2,940
減価償却費	809	326
関係会社清算損益 (△は益)	△7	—
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△2	—
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	125	0
投資有価証券売却損益 (△は益)	△9	—
固定資産売却益	—	△0
固定資産除却損	28	5
固定資産売却損	38	0
事業撤退損	—	242
受取利息及び受取配当金	△20	△4
支払利息	276	233
売上債権の増減額 (△は増加)	51	2
販売用不動産の増減額 (△は増加)	△4,423	2,791
仕掛販売用不動産の増減額 (△は増加)	2,613	△1,162
前渡金の増減額 (△は増加)	132	293
預け金の増減額 (△は増加)	△452	△96
前受金の増減額 (△は減少)	△82	△10
未払金の増減額 (△は減少)	△403	△248
未払又は未収消費税等の増減額	△1,057	△436
預り敷金の増減額 (△は減少)	611	△151
その他	△298	△200
小計	422	4,524
利息及び配当金の受取額	19	3
利息の支払額	△276	△234
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△1,527	△5,457
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,361	△1,164
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△1,697	△508
有形固定資産の売却による収入	28	0
無形固定資産の取得による支出	△8	△155
投資有価証券の売却による収入	52	—
出資金の払込による支出	△200	△550
ゴルフ場事業撤退による支出	—	△131
貸付けによる支出	△307	△308
貸付金の回収による収入	49	7
関係会社の清算による収入	10	—
その他	0	△13
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,075	△1,658
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入れによる収入	12,373	11,110
長期借入金の返済による支出	△10,294	△14,935
自己株式の取得による支出	—	△7,824
配当金の支払額	△150	△1,351
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△110	△44
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,819	△13,046
現金及び現金同等物に係る換算差額	4	121
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,612	△15,747
現金及び現金同等物の期首残高	19,922	28,222
現金及び現金同等物の四半期末残高	18,309	12,474

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

(自己株式の取得)

当社は、2022年6月1日開催の取締役会決議に基づき、自己株式8,000,000株の取得を行いました。この結果、当第2四半期連結累計期間において自己株式が7,824百万円増加しております。

(自己株式の消却)

当社は、2022年7月22日開催の取締役会決議に基づき、2022年7月29日付で、自己株式8,000,000株の消却を実施いたしました。この結果、当第2四半期連結累計期間において繰越利益剰余金及び自己株式がそれぞれ8,000百万円減少し、当第2四半期連結会計期間末において、自己株式が473百万円となっております。

(セグメント情報)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

## I. 前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

(単位: 百万円)

	報告セグメント			合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	資産価値創造 事業	資産価値向上 事業	未来価値創造 事業			
売上高						
顧客との契約から生 じる収益	16,752	311	632	17,696	—	17,696
その他の収益	—	2,169	71	2,240	—	2,240
外部顧客への売上高	16,752	2,481	703	19,937	—	19,937
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	72	28	101	△101	—
計	16,752	2,554	732	20,038	△101	19,937
セグメント利益 又は損失 (△)	3,597	628	△1,149	3,077	△307	2,769

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△307百万円は、各報告セグメントに配分していない、一般管理費等の全社費用△307百万円及びセグメント間取引消去0百万円であります。この調整額を差引いた後のセグメント利益の額は、四半期連結損益計算書に計上している営業利益の額2,769百万円と一致しております。

2. その他の収益の主なものは、リース取引に関する会計基準に基づく賃貸収入であります。

## II. 当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

(単位: 百万円)

	報告セグメント			合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	資産価値創造 事業	資産価値向上 事業	未来価値創造 事業			
売上高						
顧客との契約から生 じる収益	15,629	326	1,019	16,976	—	16,976
その他の収益	—	1,815	97	1,912	—	1,912
外部顧客への売上高	15,629	2,141	1,117	18,888	—	18,888
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	44	12	57	△57	—
計	15,629	2,186	1,130	18,946	△57	18,888
セグメント利益 又は損失 (△)	4,840	344	△1,672	3,513	△399	3,113

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△399百万円は、各報告セグメントに配分していない、一般管理費等の全社費用△399百万円及びセグメント間取引消去0百万円であります。この調整額を差引いた後のセグメント利益の額は、四半期連結損益計算書に計上している営業利益の額3,113百万円と一致しております。

2. その他の収益の主なものは、リース取引に関する会計基準に基づく賃貸収入であります。

## (重要な後発事象)

## (当社株式に対する公開買付け)

Rays Company (Hong Kong) Limited (以下「公開買付者」といいます。)が2022年9月21日から実施してまいりました当社の普通株式(以下「当社株式」といいます。)に対する公開買付け(以下「本公開買付け」といいます。)が2022年11月4日をもって終了し、公開買付者より本公開買付けの結果について、報告を受けました。

## 1. 本公開買付けの結果について

当社が2022年11月5日付で公表した「Rays Company (Hong Kong) Limited による当社株式に対する公開買付けの結果並びに親会社、親会社以外の支配株主及び主要株主である筆頭株主の異動に関するお知らせ」に記載のとおり、本公開買付けにおいては、本公開買付けに応じて応募された株券の総数(22,752,173株)が買付予定数の上限(18,364,300株)を超えたため、買付予定数の上限である当社株式18,364,300株を取得した旨の報告を受けました。この結果、当社の総株主の議決権の数に対する公開買付者の所有する議決権の数の割合が過半数となったことから、公開買付者は、新たに当社の親会社に該当することとなりました。

## 2. 親会社及びその他の関係会社の異動について

異動年月日

2022年11月11日(本公開買付けの決済の開始日)

## 3. 親会社となる会社の概要

## (a) Rays Company (Hong Kong) Limited

名称	Rays Company (Hong Kong) Limited
住所	25/F, LHT Tower, 31 Queen's Road Central, Hong Kong
代表者の氏名	取締役 セス・フィッシャー (Seth Fischer)
資本金	100,000香港ドル
事業の内容	投資業

## (b) RS Company Ltd.

名称	RS Company Ltd.
住所	P.O. BOX 309, Uglan House, Grand Cayman, KY1-1104, Cayman Islands
代表者の氏名	取締役 セス・フィッシャー (Seth Fischer)
資本金	50,000 米ドル
事業の内容	投資業

## (c) Oasis Management Company Ltd.

名称	Oasis Management Company Ltd.
住所	4th Floor Anderson Square, 64 Shedden Road, P.O. BOX 10324, Grand Cayman, KY 1-1103, Cayman Islands
代表者の氏名	最高投資責任者 セス・フィッシャー (Seth Fischer)
資本金	50,000 米ドル
事業の内容	投資運用業

## 4. 今後の見通し

本公開買付けにより、公開買付者は当社株式の18,364,300株(当社の総株主の議決権の64.21%)を所有することになるため、当社は公開買付者の連結子会社となりますが、当社が2022年9月20日に公表した「Rays Company (Hong Kong) Limited による当社株式に対する公開買付けに関する意見表明のお知らせ」に記載のとおり、当社と公開買付者は、当社の連結子会社化後も当社株式の上場を維持する意向であることを確認しており、本公開買付け後においても当社株式の株式会社東京証券取引所スタンダード市場における上場は維持される予定です。